

表示される[所見マーク]の意味は、次のとおりです。

所見マーク	意味
v	電圧値が低い。 電圧値が 5 分以内に測定された直前の測定結果との差が 8V 以上だったときに、表示されます。
r	抵抗値が高い。 電圧値が 100V 以上であれば抵抗値が 50Ω 以上だったとき、電圧値が 100V 未満であれば抵抗値が 125Ω 以上だったときに、表示されます。
*	電圧値が低く、抵抗値が高い。 上記の電圧値と抵抗値の条件が両方とも成り立ったときに、表示されます。
d	測定中にプローブがはなされた可能性があることを検知したときに、表示されます。このストリングをもう一度測定してください。
x	接続箱からストリングまでの配線でクロストークが起こっている可能性があることを検知したときに、表示されます。
N	電圧を検知できているのに、本装置が接続箱から入力した抵抗値を測定するための信号が戻ってこなかったことを検知したときに、表示されます。 接続箱からストリングまでの配線の長さが数百メートルにも及んでいる場合、この現象が発生する可能性があります。 このマークが表示されたストリングも「OL」と判定されますが、大幅な出力低下となる故障（クラスタ故障）が発生していない可能性があります。 ソラメンテ-iS（別売）を使って、クラスタ故障が発生しているソーラーパネルの有無を必ず確認してください。
L	接続箱からストリングまでの配線で高インダクタンスを検知したときに、表示されます。このマークが表示されたときに、抵抗値が高くなる場合があります。
P	パワーコンディショナが発する電気ノイズがストリングの直流回路に伝わり、本体が抵抗値を測定するためにストリングに印加している信号に障害を与えていることを検知したときに、表示されます。 該当ストリングの近くに動作中のパワーコンディショナがある場合、この現象が起こることがあります。 ノイズ量の数値が 1,000 を超えていた場合、該当ストリングの抵抗値を正しく測定できていません。該当ストリングの近くに動作中のパワーコンディショナがあれば、すべて停止させてください。 ノイズ量の数値を見る方法は、取扱説明書「8.4 測定結果を閲覧する（[閲覧]モード）」を参照してください。